

物理工学談話会

平成31年2月6日（水）10:30～
総合研究棟W棟2階202会議室

一柳 優子 准教授

磁気ナノ微粒子の創製と医学への応用

数nmの磁気微粒子を作製可能な独自技術を開発し、それらの磁気緩和現象やイオン化支援機能が、量子サイズ効果をともなって現れることを解明した。放射光を利用したX線吸収微細構造(XAFS)実験により、局所構造の解析を行ない、ナノスコピック系物質の新たな評価方法を提案した。近年は、本磁性微粒子が医療分野へ応用できることを見出し、新しいがん治療の可能性への道を拓いた。将来的にはイメージングによる診断と温熱治療を同時に行える、セラノスティクスへと発展する可能性がある。

どなたでもお気軽にご参加ください

世話人：大野かおる（内4254）